



図書だより 9月

令和6年8月30日
開南幼稚園 永森 加奈

たくさんあそぼう！

9月 貸出し

とてもとても暑い夏休みでしたね。まだまだ日差しは厳しいですが、夜、耳をすますと虫の音が響き、秋の訪れを感じます。

長いお休み後のお子さんの様子はいかがですか？久しぶりの幼稚園に戸惑うこともあるかと思いますが、夏休みの間の様々な経験が、子どもたちを大きく成長させたことと思います。子どもたちに楽しかったこと、興味を持ったことをたくさん聞いて、絵本と繋げていきたいと思っています。行事が盛りだくさんの2学期です。子どもたち自身が様々なことに想像を膨らませて楽しく過ごせるよう、2学期も一人一人に寄り添ってまいりますので、よろしくお願いいたします。

貸出	8/30 (金)	9/6 (金)	13 (金)	20 (金)	27 (金)
返却	2 (月)	9 (月)	17 (火)	25 (水)	30 (月)

- *子どもが自分でできるよう声掛けをお願いします。
- *返却日に忘れると、次回は貸出しできません。
- *「新年度のしおり」P6「図書室からのお知らせ」をもう一度よく読んでください。

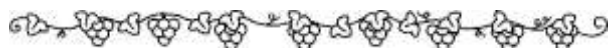


絵本とこども

今は亡き、児童文学者の松井直氏と翻訳家の松岡享子氏の対談を読み直し、改めて絵本と遊びの関係と言葉の大切さを実感しました。

参考資料(婦人之友2015年2月号「ことばのゆりかご」から抜粋)

- *子どもは絵本を読んでもらって、耳から言葉が聞こえてくると、それが絵になる
- *子どもにとって、絵本の絵は隅から隅まで言葉で、絵を読んでいる
- *日本語の表現と、聞く力が貧しくなっている
- *子どもの耳から一番に言葉が入ってくるのは家庭 → 家庭で、子どもと話しながら一緒に食事をしたり、本を読んであげたりする時間を大切に
- *生活のスピードが速くなり、自然に触れることや体を使ってすることが減っているのは、子どもにとって望ましくない
- *本を読んで面白いと感じるのは、自分の中に思い描いたイメージが面白いから → 言葉からイメージを引き出す力……イメージの源は「体験」
- *子どもたちはよく遊んで、人とも自然ともいろいろなやりとりをしてほしい
- *本と体験とが良い循環をすれば、人生はとても豊かになる
- *年をとってもう一度絵本を読み、子どもの頃とは違う楽しさや遊びを感じられたら生きる力になる
- *子どもの話をよく聞くこと……自分の言いたいことをよく聞いてもらった子どもは、人の言葉をよく聞くことができるようになる



絵本のリサイクルバザー

今回もたくさん絵本の寄贈いただき、7月31日(水)～8月2日(金)に行うことができました。酷暑の中、来てくださりありがとうございました。

夏休み中の野菜販売の収益と合わせて、絵本を購入いたします。購入した絵本はホームページで紹介していきますので、どうぞお楽しみに。

次回の絵本リサイクルバザーは、2学期後半に予定しています。絵本の寄付は、随時受け付けていますので、冊数と名前のメモを添えて、図書室か担任へお願いします。

* 第33回 絵本リサイクルバザー	
収益	3,730円
バザー用絵本寄付	102冊
利用者	7名・販売冊数 66冊
* 夏野菜販売	
収益	9,500円

